



第2回 北海道教区 教区祭



第614号

発行所

天理教北海道教務支庁
札幌市中央区南8条西11丁目
電話 011 (561) 1148
FAX 011 (561) 1190
E-mail: tenrikyohk@gmail.com
ホームページ
<https://tenrikyohk.com>



すべて喜び

すべておたすけ

北海道教区

教祖 140 年祭 北海道教区スローガン

第2回 北海道教区 教区祭

8月31日、教務支庁を主会場に全道27支部参加で「もっと勇みしんじんを」をスローガンに掲げ、「第2回 北海道教区教区祭」を開催した。

本年度は教区並びに支部において、役職員の改選時期にあたり、十分な計画、ねらいが難しいのでは、との懸念もあったが、「世界の治まり」を祈念するおつとめを躊躇することなく、全支部の総意をもってつとめようとの決意のもと、教区祭実行委員会（三幣健志委員長）を立ち上げ、教務支庁に一人でも多くの方がお運びくださり、支部会場でも同時に、心ひとつにおつとめをつとめて頂けるよう、支部長会議にてその思いを共有した。

当日は、早朝より全道各地から、マイクロバスや、乗用車に乗り合わせた参加者が参集し、教務支庁の敷地内の駐車場は、瞬く間に埋まっていた。
午前9時受付開始後、おつと



め衣を携えた参加者が次々と神殿に足を運ぶ。開会に先立ち、神殿では開扉・献饌がつとめられ、これよりのち、教区長挨拶までは、全道各支部会場にもユーチューブ配信がなされた。10時、居並ぶ参拝者を前に三幣委員長より開会宣言、その後奥村教区長の手合わせ、親神様・教祖・祖霊様を礼拝。祭文奏上・祭儀式と進んだ。
おつとめに先立ち、教区長があいさつの中で、各支部で行われている、災害救援など様々な活動を紹介され、



「なんとも素晴らしいことだなあ、と感銘を受けております。（中略）普段の活動を通しての心を合わせた姿が、おたすけの心が、世に映し出されたと思っているのであります。」と述べられ、さらに近い将来、真柱様にお入り込み頂きたいとの思いを募らせる中に、
「真柱様にお入り込みいただく順序として、まず、北海道は教区祭を通して意義に心を合わせ、また、そうした思いは、一部の人ではなく、私を始め、主事、支部長が先達となつて全教会へ思いをお届けしていかねければならないし、更にはより多くの教友と共に教区祭を通して、よろづたすけのおつとめを

(2Pへ続く)



（1P 続き）
励行し、積み重ねていかなければならないと思うのであります」と述べ、一手一つの姿を整えた教区祭に真柱様のお入り込みを賜りたいの思いを披瀝した。

10 時 30 分、おつとめ衣を身に纏った奉仕者と、大勢の参拝者が見守る中、おつとめが始まる。各支部から奉仕者を募り、10 交代で勤めることとなった座りづとめと十二下りのてをどりまなび。各支部混合で勤める下りもあれば、一支部ですべての役割をつとめる下りもある。この日を迎えるにあたり、各支部で練習を重ね緊張と感激の面持ちで各役割が進められていく。

このたびは、全椅子席でのおつとめ奉仕となったが、奉仕者



は、会長夫妻のみならず、信者さんや少年会員もお手製のおつとめ衣に身を包み、一つ心におつとめを勤めあげた。

おつとめ後には、支部長を代表し、余市支部・野村広司支部長、天塩支部・福井教之支部長より、「支部長挨拶」があり、今日の日の迎えた喜びと、次回に向けた決意が表明された。（別紙にて全文掲載）

教区祭の終わりにあたり、教区長の手に合わせ親神様・教祖・祖霊様を礼拝。その後、教務支庁並びに、各支部会場にて記念

※教区長挨拶、
支部長挨拶の
全文が閲覧で
きます



宗谷支部にて

定例にをいかけ やまびこ会

※報告頂いた
支部会場が
閲覧できます



撮影がおこなわれ、第 2 回教区祭は盛大につとめ終えられた。尚、教務支庁会場では、参拝者全員に弁当が配布され、夫々教祖 140 年祭への更なる躍進を胸に帰路についた。

参加総数 577 名（教務支庁会場 300 名、支部会場 277 名）

布教を志す者の会「やまびこ会」では、9 月 2 日、3 日の両日、宗谷支部の依頼を受け、「出張やまびこ会」を天塩町と遠別町で実施した。

やまびこ会の顧問である大道徳（本権分教会長）氏による「布教講話」を行い、にをい

けへの奮起を促した。

両日とも、二人一組となり戸別訪問を行い、おさづけの取り次ぎもあつた。

振り返りでは町内の人たちへの遠慮があり、これまで世間話で終わっていたが、今後は一言の話を取り次げるように一歩踏み込んでみたいと、にをいかけへの意識が高まった。和田裕克支部布教部長（遠別分教会長）は、「この春から支部例会の日を集まった人で神名流しをしている。毎月定例の布教日を設けるのは難しいが、年に数回は布教日を設けて取り組んでゆきたい」と今後の支部での決意を述べた。

『大上先生と同行させて頂き、教祖を信じ切っている姿、また相手から気持ちを引き出す会話、相手にたすかしてもらいたい、教祖のお役に立たせて頂きたいという誠実から、自然と会話からの流れでおさづけを取次られ、大変参考になりました。お取次ぎ後に、相手の方が自身の生活や身上のことを話し始めたり、また御供を下さった方もあり、戸別訪問は、「おさづけ」をお取次ぎすることが目的なのではなく、「おたすけ」をさせて頂くことが目的なのだと言再確認しました。』と吉川英樹宗谷

支部長が話してくれました。

また 9 月 16 日には、定例のやまびこ会が開催され、9 名が参加して戸別訪問を実施。

残り少ない年祭活動に一層の弾みをつけようと、真心を込めて訪問したこの日は、玄関先ですぐさまに『かしの・かりもの』のお話を取り次いだり、またお宅の軒先に倒れている老人を介抱し、おさづけを取り次



戸別訪問

いだりと、短い時間の中にも親神様のお導き、御守護を感じられる時間となった。

教祖 130 年祭当時、熱心に布教に励んでいたが、以後なかなか活動ができなかったという方が、今回新たに参加。様々な思いを抱えている方々の受け皿として、やまびこ会が大きな意味をもっていることを改めて感じられる出来事であった。

（代表 藤野充普）

福フェス

8月30日、教務支庁を会場に、福祉厚生部(岡崎秀人部長)は、「福FES2025」を開催、約250名が来場した。

第2回となる福フェスは、各種社会福祉活動の啓発を促すことを主目的としつつ、飲食ブースやキッズスペースなどを設け、地域交流を図る催しである。

今回は昨年に引き続き献血バスを配車し58名の協力を得た。

新企画として教務支庁管内では、昼食時間に合わせて子ども食堂を開催、62名の利用者があった。

保護司や里親、民生児童委員の紹介ブースを設置し、飲食ブースの中ではステージ企画も展開。福祉活動のトークセッションを中心にクイズラリー、抽選会などのイベントも実施した。



賑やかな場内

午後は徐々に晴天にも恵まれ来場者も増し、より多くのの方に福祉活動を啓蒙できる活動となった。

(実行委員会
北村貴久)



献血バス



バス車内の様子

熱教合宿

青年会

9月13日、14日、釧根支部の標津分教会を拠点に、青年会(岡田基貴委員長)は、「熱教合宿」を実施し、7名が参加した。

青年会員同士の交流をはかり布教活動、講話、対話で学びを深め、共に活動する事を目的とする。

実務担当者の大嶋春喜氏による講話の後、ねりあいでは、笑顔を支えながら活発な意見交換が行われた。

午後から神名流し、戸別訪問と中標津の街中ををいがけに歩いた。振り返りでは、参加者同士が互いの気づきを共有した。

夕づとめ後は、懇親会が開かれ、会員同士の親睦が一層深



まった。

大嶋氏は、「普段は一人での布教活動で勇めない日もありますが、今回、仲間と語り合う中で、自身の布教の仕方や、考え方に気づく機会となりました。

今後は、各支部ごとに熱教合宿を開催し、布教活動にとどまらず、様々な企画を通じて信仰をさらに深めていきたいと考えております。」と所感と今後の展望を述べた。

お詫び

教区報613号(9月号)の1ページ少ひ感想文の氏名に誤りがありましたので、訂正致します。

×土井依璃愛 ↓ ○土居依璃愛
ご迷惑をお掛け致しました事をお詫び申し上げます。



学 生 会

●「8月夏休み行事 FIRE」

学生会（野村夏実委員長）は、8月23日から24日かけて、「8月夏休み行事 FIRE」を開催。夏休み期間に、親睦を深める事をメインに行われ、15名が参加した。

「今年初の宿泊行事で、初めて参加してくれた子も多く充実した2日間でした。また、おつとめ練習もさせて頂き、教理に触れることが出来て良かったです。」と野村委員長が話した。

●道の学生ひのきしんデー

9月14日、道の学生ひのきしんデーが、天理教学生会主催で全国各地で開催され、北海道では教務支庁を会場に14名が参加。「みんなで心明るく陽気な姿



夏休み行事



学生ひのきしんデー

で勇もう！」のスローガンのもと、教務支庁周辺のごみ拾いをメインにひのきしんを行った。野村委員長は、「仲間と共に勇めるひのきしんデーを開催出来たことを本当に嬉しく思っています。おつとめ総会には多くの学生さんの参加をお待ちしています。各支部、教会長の皆様にも学生へのお声掛けのご協力を頂けると幸いです。」と学生の参加を呼びかけた。

スタッフ会議・倉庫整理

災害対策

9月1日、教務支庁で災害対策の倉庫整理及びスタッフ会議を行った。11名参加。

有事の際に即応できるようにと、倉庫内の資材をすべて外に出して整理し、資材を使いやすい状態にして倉庫に戻した。スタッフ会議では、行事確認

や来年度の平時訓練について話しあわれ、今後、装備も順次補充が必要である事をお互いに確認した。



スタッフ会議

●ふせこみひのきしん

教務支庁にて毎月29日

8月29日は、神饌場、神殿掃除、畳拭き、ロビー、玄関、廊下、階段、風呂掃除、トイレ掃除、大小会議室、窓拭き、外回りのごみ拾いを行い、15名が参加下さいました。ありがとうございました。



神饌場掃除



ごみ拾い

新教会長さん紹介

(令和7年8月お運び)

日高支部 日高國分教会(湖東)

奉告祭 11月20日



本多 清将 氏
38 歳

北海道教務支庁日誌抄

9月1日	災害対策倉庫整理/スタッフ会議
4日	札幌中南支部例会
13日	青年会熱教会宿・標準分
14日	学生会道の学生のきしんデー
15日	会計部会議
16日	やまびこ会
20日	布教の家寮祭
20日	青年会活動40周年
23日	洞爺湖緑化ひのきしん
25日	学担支部担当者会議
26日	教務支庁ふせこみひのきしん
27日	教区長例会
28日	本部月次祭遥拝式
30日	本部秋季霊祭
30日	学生会例会
30日	合唱団練習
30日	教区長帰庁
30日	全教一斉にをいかけデー
30日	たすけ推進会議

教区功労者合祀慰霊祭

8月30日に教区功労者の合祀慰霊祭がとめられ、元主事の廣岡文太郎様、元主事の中村守様、元余市支部長の森明様の御霊を合祀させて頂いた。ごまじした。



計 報

立教一八八年・令和7年

五十嵐壽美子様 8月12日出直(92歳)
上磯分教会前会長 (渡島支部)

小西 ふき子様 9月2日出直(89歳)
三幾分教会六代会長
三笠山分教会四代会長夫人(南空知支部)